

南房総のハズシ

「主体的・対話的で深い学び」の保健授業について

各学校では、「感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立」をさせながら、教育活動を進めていることと
 思います。南房総教育事務所保健体育班では、保健学習の更なる充実に向けて小学校3年生から6年生(26時間)、中
 学校1年生から3年生(48時間)までの学習カードとプレゼン資料を作成いたしました。

保健学習における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善となるよう、学習カードとプレゼン資料を使
 用したり、更にカスタマイズして工夫しながら使用したり、授業改善に役立ててほしいと思います。

「指導と評価の一体化」の実現に向けて

「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹に当たり、これらを一体化することが授業改善につながると
 いわれています。保健学習における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けて、「指導と評価の
 一体化」のための学習評価に関する参考資料(文部科学省, 国立教育政策研究所, 令和2年3月)では下記のことが
 事例として示されています。

小学校

- ・「知識・技能」の評価については、1時間の学習の軌跡として、学習カードなどから評価していく。
- ・「思考・判断・表現」を評価する際には、なぜそう考えたのか理由を問う欄や自己の生活と比べたり関連付けたりする設問を設定する。
- ・「思考・判断・表現」の評価では、児童の思考の過程が見えるような学習カードの作成が必要である。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の育成では、学習に進んで取り組むことができるような教材(ストーリー性をもたせた教材・プレゼン資料)を工夫する。

中学校

- ・「知識・技能」の評価に当たっては、ワークシートを中心としつつ、観察で補うことも考えられる。ワークシートによる評価においては、評価する観点に応じた項目を設定することが重要である。
- ・「思考・判断・表現」の評価は、観察やワークシート、生徒との対話、ペーパーテストなど、多様な評価方法を工夫し、組み合わせていく必要がある。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体を通して総合的に評価することが適切であると考えられることから、「はじめ(診断的評価)、なか(形成的評価)、まとめ(総括的評価)」と評価する。

上記に示されるよう、学習カード・ワークシート・プレゼン資料等の活用が授業改善のポイントにもなります。南房総教育事務所保健体育班では、次のページに示した学習カードとプレゼン資料を作成しました。先生方の授業改善につながる資料になればと思い、希望される方に提供させていただきます。

4年 「2. 体の発育・発達」 【1変化してきたわたしの体】

4年 組 番 名前

～考えてみよう！～

身長や体重は、年れいとともに、どのように変化するでしょうか？

(1)入学したころの自分の体と、今の自分の体をくらべてどんなことが変わってきたかあげてみましょう！

(2)下のグラフは、AさんとBさんの毎年の身長のおびを表しています。2人の身長のおび方には、どのようなちがひがあるのか考えましょう！

学年	Aさんの身長のおび (cm)	Bさんの身長のおび (cm)
1年～2年	124	136
2年～3年	130	139
3年～4年	135	143

(3)身長がのびたり、体重がふえたりする時期やその変わり方はみな同じですか？年れいとともにどのように変化するのか書きましょう！

「思考・判断・表現」

における評価の留意点

児童生徒の思考の過程が見えるような学習カードの作成が必要である。例えば、学習したことと自分の生活のことを記入できる欄を設け、両者を比較して気付いたことや関連について記入できるようにしたり、事例を設定し学習したことを基にアドバイスを書けるようにしたりすることが考えられる。

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する 参考資料 小学校 体育科(保健領域) 事例8より)

学習課題 ・胸骨圧迫の方法を身につける。
実習 ・AEDの使い方を身につける。

実習1. 胸骨圧迫

・胸骨圧迫は、体の【 】から【 】を圧迫することによって、【 】の流れを【 】につくりだす方法である。

技能ポイント ・強く、速く、【 】なく圧迫する。

実習2. AEDの操作

・AEDは【 】をいれると【 】で使い方を指示してくれる。【 】的に心臓の【 】を調べ、電気【 】が必要かどうかの【 】もしてくれる。

技能ポイント ・電極【 】は途中ではずさない。
・傷病者から【 】て【 】(電気ショック) ボタンを押す。

実習3. 気道確保と人工呼吸

・気道の【 】は【 】の通りを【 】するため、人工呼吸は【 】に酸素を送りこむためにおこなう。

技能ポイント ・空気が【 】に入っているかどうか、傷病者の【 】が上がるのを【 】確認する。

心臓蘇生法チェックカード

	チェック項目	✓	改善点
胸骨圧迫	傷病者の胸の正しい位置に、救助者の手の正しい部分を当てているか		
	傷病者の胸の真上から垂直に体重をかけて圧迫しているか		
	傷病者の胸が5cm沈んでいるか		
	胸がしっかりと元の高さに戻っているか		
AEDの使用	1分間に100～120回のテンポで連続して絶え間なく続けているか		
	傷病者の近くに置いて使う準備をしているか		
	電源を入れて、音声メッセージに従って操作しているか		
	胸骨圧迫をしながら、行えているか		
気道確保	傷病者の胸から衣服を取り除いているか		
	電極パッドを正しい位置に、肌に密着させて貼れているか		
人工呼吸	電気ショックをする前に、周囲の人に傷病者の体にふれないように呼びかけ、誰も傷病者の体に触れていないことを確認しているか		
	顔を押しさえながら、もう一方の手の指先をあごの先端、骨のあるかたい部分にあてて持ち上げているか		
	顔を押しさえしながら、顔を確保したまま、顔に置いた手の親指と人差し指で鼻をつまんでいるか		
人工呼吸	口を大きく開けて、傷病者の口を覆っているか		
	約1秒かけて傷病者の胸が上がるのがわかる程度の吹き込みを、2回連続で行っているか		

学習の振り返り授業で学習したことを振り返り、記入しよう。

「知識・技能」

における評価の留意点

知識を習得しながら、実習を通して理解を深め、基本的な技能を身に付けている学習状況を確認できるように、ワークシートの項目を工夫することが重要である。さらに、既有的知識及び技能と関連付けたり、活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価できるようにすることも考えられる。

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する 参考資料 中学校 保健体育科(保健分野) 事例5より)

小学校3年【保健】

けんこう せいかつ

1. 健康な生活

～1日(にち)の生活(せいかつ)のしかた～

『1日の生活の仕方』

ごはんをしっかりと食べてよ!

運動(うんどう)もしてるよ!

早寝早起(はやねはやおき)だね!

Aさん	6時	7時	8時	9時10時11時	12時13時14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時22時23時
Bさん	6時	7時	8時	9時10時11時	12時13時14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時22時23時

ごはんは食べたのかな?

宿題(しゅくだい)はどうしたのかな?

遅(おそ)くまで起(お)きてるんだね?

(1) AさんとBさんの生活(せいかつ)のしかたを見(み)て、気(き)が付(つ)いたことを話(はな)し合(あ)ってみよう!

Aさん	6時	7時	8時	9時10時11時	12時13時14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時22時23時
Bさん	6時	7時	8時	9時10時11時	12時13時14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時22時23時

(3) 「Aさんの1日(にち)の生活(せいかつ)」と、自分(じぶん)の生活(せいかつ)をくらべてみよう!

これから直(なお)さなければならぬことを書いてみよう!

運動	食事	休養
<ul style="list-style-type: none"> 休(やす)み時間(じかん)や放課後(ほうかご)などにも運動(うんどう)する。 	<ul style="list-style-type: none"> 好(す)き嫌(きら)いななくさん食(た)べる。 給食(きゅうじょうく)を残(のこ)さず食(た)べる。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビやゲームの時間(じかん)を短(みじか)くして早(はや)く寝(ね)る。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価についての考え方

「主体的に学習に取り組む態度」では、それぞれの学習場面において、知識を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面を評価するとともに、その際に、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりすることを通し、自らの学習を調整しようとする側面も評価していく必要がある。

【教材の工夫・・・ストーリー性をもたせた教材】

児童一人一人が、粘り強い取組を行おうとするには、学習の見通しを確実にもたせるとともに保健の学習への興味・関心を高めることが必要となる。ストーリー性をもたせた教材(フレゼン資料)を活用し、架空の人物の生活を通した学習過程を設定することで、健康な生活に係る課題を自分事として捉えやすくし、学習の見通しをもたせながら課題の解決に取り組みやすくした。

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する 参考資料 小学校 体育科(保健領域)事例9より)

表1 保健教育で用いられる指導方法の例

指導方法	健康課題やその解決方法に関する具体的な活動	期待される資質・能力等の育成	活用例
ブレインストーミング	様々なアイデアや意見を出していく	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 知識の習得 	<ul style="list-style-type: none"> かぜをひいた時の原因 がんが発生する原因 ストレスへの対処方法 運動の効果
事例などを用いた活動	日常生活で起こりやすい場面を設定し、そのときの心理状態や対処の仕方等を考える	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 知識の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 性に関する課題へのアドバイス 一日の食生活チェック
実験	仮説を設定し、これを検証したり、解決したりする	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 学びに向かう力、人間性等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 気体検知管による二酸化炭素濃度の測定 照度計による教室内の明るさの測定
実習	実物等を用いて体を動かす	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 知識及び技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> リラクゼーション法の意義と方法 心肺蘇生の意義と方法
ロールプレイング	健康課題に直面する場面を設定し、当事者の心理状態や対処の仕方等を疑似体験する	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙などを助長する断りにくい心理の存在 心肺停止に陥ったと思われる人への対処
フィールドワーク	実情を見に行ったり、課題解決に必要な情報に詳しい人に質問したりする	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 学びに向かう力、人間性等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故や自然災害の原因 保健機関の役割
インターネット、図書、視聴覚教材	コンピュータや図書館等を利用して、情報を収集する	<ul style="list-style-type: none"> 知識の習得 健康に関する情報処理能力等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の正しい使い方 エイズの現状
保健・医療機関等の参画(外部講師の活用)	外部講師による専門的知見に基づく授業参画	<ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用防止教育(警察職員、薬剤師など) がん教育(医療従事者、がん経験者など) 性に関する指導(医師、看護師、助産師など)

保健教育の指導方法を選ぶ際には、

その時間の目標を達成するために最も効果的であるかを吟味するとともに、選んだ指導方法の効果を発揮させるために必要な時間配分が可能なかを考慮すべきである。(改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引令和2年3月文部科学省)

表1の具体的な方法等を用いて、先に資料として示した学習カードやフレゼン資料を工夫活用することによって、更なる保健学習の充実に努めてください。